

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024

8

vol.319

役員就任のご挨拶

代表理事組合長 紺野 宏



残暑の候 組合員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

日頃は、組合事業に特段のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る、六月二十四日開催の第三十一回通常総会には、何かとお忙しい中多くの組合員の皆様のご出席を頂き、かつ提出いたしました全議案原案通りご承認下さり誠にありがとうございました。ありがとうございます。

総会終了後の理事会において、代表理事組合長に再任されました。引き続き、組合員並びに役員を始め関係機関皆様のご指導ご鞭撻をよろしく

お願い申し上げます。

本県の酪農の経営形態も少しずつ変化してきています。が、やはり要である家族経営をしっかりと守り、次世代につなげるための環境づくりに注力することが、第一義であると考えます。そのため酪農家の所得向上はもとより経営継続につながる施策の実施に向け取り組んでまいります。

さて、令和三年度からの第八次中期経営三ヶ年計画においては、その事業推進実施重点事項である「十年先を見据えた組織機構と事業体制の構築」に向け、機構改革を皮切りとして動き始めました。しかし、ロシアのウクライナ侵略に端を発した世界的な情勢不安と円安の加速で生産資材は

高騰を続け、輸入粗飼料等の値上がりは高止まり状態にあり、幾度かの乳価改定がされましたが、生産コストとの差は一向に縮まらないのが現状です。私たちの手が届かない外部要因により、様々な事情をはらみながら多くの組合員が、搾乳を停止・酪農を廃業してしまいました。

十年を待たずに、出荷戸数が一〇〇戸を下回る状況が現実になつてきた今、広い福島県内に点在する組合員にこれまで同様の農家巡回と指導を行っていくための方策を今年度から始まる第九次中期経営三ヶ年計画において、早急に構築していかなければならない局面にきています。

平成二十三年三月十一日の東日本大震災並びに東電原発事故から十三年余が経過しました。浪江町での復興牧場建設は、用地の造成工事が順調に進み順次建築工事に移っています。一方で、飼料

生産基盤の確保と生産体制の充実のために地元酪農家、農地所有者と協議を進めています。

今後も、令和八年四月の牧場事業の開始に向けて引き続き浪江町と連携を密にし、福島県酪農の生産基盤の確立を目指し邁進してまいります。

今回の役員改選では、理事・監事それぞれ一名が削減される中、理事四名、監事二名の新しい役員を迎えることとなりました。役員一丸となり事業推進に努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今期で退任されました木目澤前副組合長をはじめ八名の方々は、第八次中期経営三ヶ年計画の推進にご尽力いただきましたこと心から感謝を申し上げます。就任のご挨拶といたします。

役員就任の御挨拶

新常務理事 岩谷 宏



残暑の候、組合員の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より組合事業にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る、六月二十四日第三十一回通常総会において役員改選が行われ、総会終了後の理事会において常務理事に選任されました。

酪農組合としては、令和二年に策定した「福島県酪農協・酪農ビジョンII」を基本として、「酪農経営の回復と持続可能な生産安定化」の支援、二部三室六課制・六事務所業務体制見直しの実施、復興牧場（シャインコースト株）稼働に向けた準備を掲げ、第九次中期経



営三カ年計画を策定し、将来に亘って組合員の負託に応え得る組織となるべく、事業を展開して参ります。

酪農業界にとつては、為替の円安による生産資材価格の高止まり等により、今後の生産に大きな不安を落としており、酪農業の崩壊にも繋がりがかねない重大な局面を迎えている状況の中で、常務理事という大役を仰せつかり身の引き締まる思いであります。誠心誠意努力する所存です。

組合員・役員・関係機関の皆様のご指導ご協力により、組合長・副組合長を補佐し、その重責を果たして参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。皆様の益々のご発展・ご健勝をご祈念申し上げます。常務理事就任の御挨拶とさせていただきます。

常務理事退任のご挨拶

前常務理事 佐藤 幸光



日頃より、組合事業にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る六月二十四日開催の第三十一回通常総会において役員改選が行われ、常務理事を退任致しました。

現在の酪農情勢はロシアのウクライナ侵攻や為替の円安により、酪農経営はコスト高で推移しております。

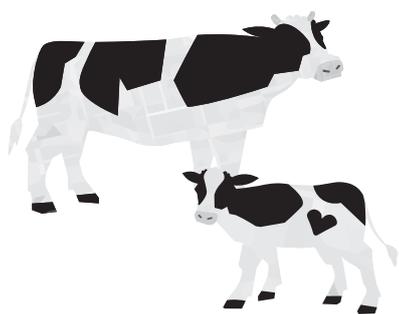
在任中は「福島県酪農協酪農ビジョンII」と「第八次中期三カ年計画」により酪農経営継続の支援と、十年先を見た組織機構改革を計画して参りました。

組織機構の改革については組合員皆様のご協力



により支所の事務所化に伴い、組合員支援を本所に集約した体制に変更いたしました。一方酪農経営継続支援については、昨今の酪農情勢から「令和の酪農危機」と言われるほどの生産費高騰が継続しております。それに対応する生乳価格の値上げもかつてない二年連続の各十円値上げがされましたが、生産費の上昇には追い付いていない状況でありました。このような情勢下でありますので、本組合としては「生乳一円、一kgの緊急支援」や国の「生産費に対応した価格への転嫁」の協議に対し、東北生乳販連への具申をしてまいりました。また、国・県・市町村への酪農事業への財政支援を積極的に要請して参りました。

更には当面の運転資金



確保など経営継続に欠かせない支援等、組合長を先頭として酪農組合として全力で対応して参りましたが、在任期間中に多くの組合員が廃業の選択をされる状況となつてしまいました。

今後は「第九次中期三カ年計画」をもって組合員の皆様の酪農経営を支援することとなりますので、引き続き本組合事業の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、常務理事三年間、皆様のご協力・ご支援に感謝し、更に皆様のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。常務理事退任のご挨拶とさせていただきます。

第62回福島県獣医畜産技術総合研究発表会 ～古姓保獣医師が東北大会へ出場決定～

令和6年7月10日(水)、第62回福島県獣医畜産技術総合研究発表会が開催されました。当組合から、今年度の県酪農協業績発表大会の発表者より選考された古姓保獣医師と小島宏文獣医師の2名が代表として発表しました。

発表の結果、古姓保獣医師が福島県獣医師会会長賞を受賞し、9月24日～25日に青森県で開催される東北地区学会にて講演する予定です。(M・M)

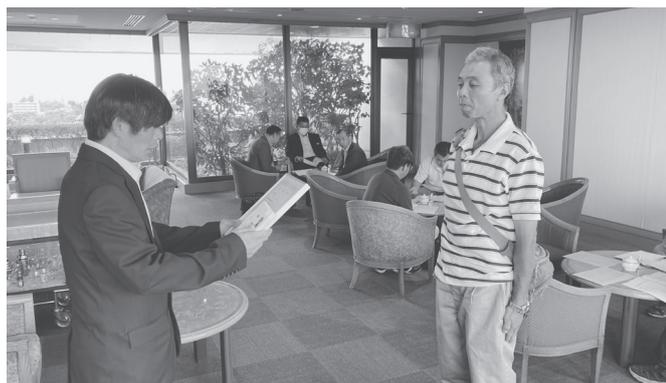


「血液ガス動態からみる子牛下痢症の経過と予後」
指導診療所 小島宏文



「受精卵移植時のカラードプラーによる
黄体評価と受胎率向上の関連について」
指導診療所 古姓 保

FD24会 第28回通常総会を開催



去る7月16日、ホテルハマツステーキハウスハマにて28回目となるFD24会(会長 遠藤明)の通常総会を開催しました。総会には会員11名が出席、県酪農協からは来賓として紺野組合長に出席頂きました。表彰においては、最高位出荷者に雪割牧場(有)をはじめ、上位出荷者10名と103%基準達成出荷者5名が入賞いたしました。議事では議長に植田征道氏が選任され、提出された議案は全



て可決・承認となりました。

総会終了後には同会場にて懇親会が開催され、会員同士で近況報告や最新の情報交換をして有意義な時間を過ごし、盛会にて終了致しました。

今後開催を予定している婦人部研修ですが、多くの方が参加いただける様なプランを企画中ですので、楽しみにお待ちしております。

(H・K)

福島県乳牛改良推進協議会主催

第40回福島県ホルスタイン共進会開催のご案内

福島県乳牛改良推進協議会主催の第40回福島県ホルスタイン共進会が、令和6年10月19日(土)に開催されます。40回を迎える今大会では、過去の名誉牛の写真展示や序列予想投票、うつくしま福島畜産mother,sクラブ e-ENの協力によるミルク豚汁の無料配布等、多くの方に楽しんでもらえるよう企画しております。県内外問わず、多くの方に参加いただける共進会となりますので、ぜひ足をお運びください。

開催日時：令和6年10月19日(土) 午前10時～午後2時30分

開催場所：福島県家畜市場（本宮市関下字神座102-2）

審査委員長：福島県農業総合センター畜産研究所 所長 山本みどり 氏

審査委員：一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 審査員 高橋貞光 氏

日 程：10:00～10:30 開会式

10:30～10:50 審査（第1部 生後8カ月以上12ヶ月未満の未經産牛）

10:50～11:10 審査（第2部 生後12ヶ月以上16ヶ月未満の未經産牛）

11:10～11:30 審査（第3部 生後16カ月以上の未經産牛）

11:30～12:00 リードマンコンテスト ※事前エントリー必要

12:00～12:40 昼食

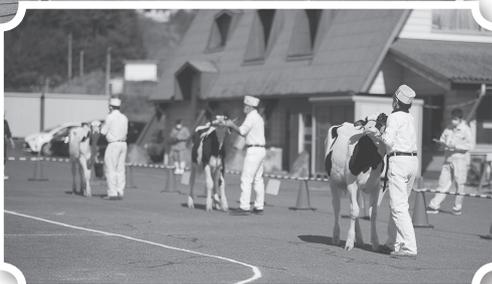
12:40～13:00 審査（第4部 生後36カ月未満の経産牛）

13:00～13:20 審査（第5部 生後36カ月以上48カ月未満の経産牛）

13:20～13:40 審査（第6部 生後48カ月以上の経産牛）

13:40～14:00 グランドチャンピオン決定戦

14:00～14:30 閉会式



福島県牛乳普及協会

福島県とカルビー(株)の課題解決プロジェクト 活動報告 福島県知事表敬訪問



左から鈴木副会長、福島県知事、伊藤相談役



福島県知事による試食

福島県とカルビー(株)が主催し、県内の関係団体とともに進めてきた「フルグラを活用した福島県の課題解決プロジェクト」の活動について、7月25日(木)にカルビー(株)相談役 伊藤秀二氏、福島県牛乳普及協会副会長 鈴木伸洋氏が福島県知事を表敬訪問しました。

このプロジェクトでは、「福島県民の食生活(塩分過多)」と「牛乳・乳製品の消費量の減少」という課題解決に向け、課題へのアプローチや施策を検討するため、1月と3月にワークショップも開催されました。

フルグラには牛乳が欠かせないという事で、県内乳業6社の牛乳が紹介された「おすすめ食べ合わせリーフレット」も制作され、イベントなどで配布されるそうです。

鈴木副会長は「現在、酪農を取り巻く情勢は、非常に厳しくなっており、離農も増えている状況。今回の取組みが牛乳・乳製品のより多くの消費に繋がってほしい」と話していました。(M・Y)

<p>マイグラ 香ばしアーモンド&チョコクランチ アーモンドを感じる大人の味わい</p> <p>マイグラ × 会津中央乳業(株) 「会津のべこの乳」</p> <p>会津産の良質な生乳を厳選使用し、85℃で15分間ゆっくり殺菌することでコクが増し風味豊かな牛乳です。搾りたてをお鍋で沸かして飲むおいしいあめ味をお楽しみください。</p> <p>マイグラ 担当コメント: 香ばしい風味とココのある牛乳がベストマッチ!</p>	<p>フルグラ おいしさザクザク!</p> <p>フルグラ × (有)角田ミルクプラント 「角田牛乳」</p> <p>南会津の自社牧場で、南会津町産の粗飼料をふんだんに食べさせ、搾りたてを製品化した、南会津にこだわった牛乳です。新鮮だから感じられる味を感じてもらえたら幸いです。</p> <p>フルグラ 担当コメント: サラツとした味わいの牛乳とフルグラのほんのりした甘さが相性抜群!</p>	<p>バイクドオーツ ナッツ&シード 甘くない、3秒で食べられる即食オートミール</p> <p>バイクドオーツ × 酪王協同乳業(株) 「酪王牛乳」</p> <p>甘すぎず、素材本来の味をしっかりと楽しめる、ちよっとオトナの牛乳です。噛みしめるたびに、生乳本来の自然豊かな甘みを口いっぱいに感じられます。</p> <p>バイクドオーツ 担当コメント: バイクドオーツは甘くないから、牛乳の味をより味わえておいしい!</p>
<p>フルグラ チョコバナナ味 朝にピッタリなチョコとバナナの鉄板コンビ</p> <p>フルグラ × 木村ミルクプラント(株) 「木村バスチャライズ牛乳」</p> <p>バスチャライザーという伝統的な釜を用い、牛乳にやさしい温度(85℃で15分間)でゆっくり殺菌しています。手間と真心をこめ、コクと旨味を引き出した「バスチャライズ牛乳」は、フルグラの香ばしい風味にミルクの風味をプラスします。</p> <p>フルグラ 担当コメント: 牛乳本来のコクが、チョコバナナ味とマッチし最後の一滴まで飲みたくなるおいしさ!</p>	<p>マイグラ フルーツなし、自分好みにアレンジできるグラノーラ</p> <p>マイグラ × (有)ささき牛乳 「ささき牛乳」</p> <p>福島市の佐原、吾妻の山々の麓にある小さな牧場で生産された生乳のみを使い、昔ながらの低温殺菌製法でじっくり丁寧に作られた熟成牛乳です。宅配で直接のお届けと、ささき牧場カフェ等での販売を行っています。</p> <p>マイグラ 担当コメント: マイグラと牛乳の味が合わさることで、キャラメルのような風味に味わいの変化が楽しめる!</p>	<p>フルグラ糖質オフ 糖質30%オフでおいしくロカボ生活が送られる</p> <p>フルグラ × 松永牛乳(株) 「まつなが牛乳」</p> <p>福島県産生乳を100%使用しその味わいをそのままに生かした牛乳です。相双地区で親しまれている牛乳の味を楽しんでください。</p> <p>フルグラ 担当コメント: 甘み控えめのフルグラ糖質オフが牛乳のほどよい甘みを引き立ててベストな組み合わせ!</p>

令和5年度
ミルク一國画
コンクール(福島県)
最優秀賞作品

忙しくて、子牛の面倒を十分に見てあげられない！

子牛の病気や治療が多くて困っている！

こんなお悩みのある酪農家さんは

若齢乳用育成預託事業

をご利用ください

【若齢乳用育成預託事業とは？】

近年、酪農家の高齢化や後継者不足により、戸数の減少、またそれに伴った酪農生産基盤の縮小が懸念されております。

そのような中、当組合の県南哺育センターでは皆様の乳用種初生牛（雌牛）を概ね生後30日齢～でお預かりして6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。



＜預託によるメリット＞

- 哺育・育成牛の管理労力を軽減
- 収益性の向上
- 強健な育成牛（後継牛）を確保
- 糞尿処理の軽減





①受入時

耳毛刈り、ビタミン
剤投与、駆虫剤、整
腸剤等の投与実施

②哺乳期

哺乳ロボットを活用
し、個体別哺乳量の
システム管理

③離乳期

牛の状態を考慮した
ペン移動の実施

④育成

(離乳～3カ月齢)
スターターから育成
配への切替は食込み
を確認した上で実施

⑤育成

(3カ月齢～)
定期的に体側をし、
月齢・体格により順
次群分けを実施

微細な変化も
見逃さない

離乳ストレスを
最小限に抑える

採食量を
落とさない

群飼いによるストレス
を最小限に抑える

酪農家さまの後継牛確保・経営を全力でサポート致します

育成牛は哺育センターにお任せください！！

その他・疾病対策

- 疾病履歴・管理日報により
個体管理の徹底
- 組合獣医師による診療
- 体格測定を実施し、発育状況の確認を
行います

疾病の早期発見
治療に努めています

飼養環境・設備

- 適正な敷料交換により常に乾燥した状態を
保っています
- 気温・気候変動への対策を徹底しています

快適性を守ります

● 申込方法: 毎月、組合員の皆さんに配布している申込案内書を組合に提出

● 預託管理料 1頭 @700円/日(税別)

別途、運賃と除角代、輸送保険、PI検査料が必要です

※ 予防投薬、ワクチン代 は預託料に含まれています

● 入牧の対象牛

概ね30日齢～の乳用雌初生牛で、健康なもの

※ 虚弱子牛、肺炎・下痢等の疾病や奇形等のある子牛はお預かりできません

● その他

若齢預託牧場から下牧する育成牛については、農家戻し並びに全酪連(北海道)

販売預託事業への上牧も斡旋させて頂いております

👉 詳しくは福島県酪農業協同組合(購買畜産課)まで

全酪連の小窓 8月号 ~ビタミン給与~

ついに暑い夏が始まり、30℃を超える日が続いてきました。今年は例年以上に暑い夏と言われていますので、夏バテや熱中症にはならないよう、水分補給等にご注意ください。
今月は夏バテ対策に用いられるビタミンについてお話しします。

乳牛に必要なビタミン

ビタミンには脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンがあります。脂溶性ビタミンのうち飼料として添加給与しなければならないものとしては、ビタミンA、ビタミンD3、ビタミンE、ビタミンKがあります。しかし、通常の飼養管理ではビタミンKが不足することはありませんので**ビタミンA、D3、E**を添加します。

水溶性ビタミンにはビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミンCなどがあります。これらのビタミン類は通常第一胃内の微生物によって合成されますので不足することはありません。しかし、泌乳の最盛期などにはビタミンB1、ビタミンB12が不足することがあります。

今回は、特に給与が必要とされる**ビタミンA・ビタミンD3・ビタミンE**について紹介します。

ビタミンA

ビタミンAの働き=皮膚や粘膜を支える

- ・上皮組織を正常に保ち正常な免疫機構を維持する働き
→とくに上皮組織における抗感染機能が重要
- ・**ビタミンAが不足すると、乳房炎や肺炎に感染しやすくなる**

不足しやすい時期=分娩前後

- ・分娩前後は初乳生産や乳生産のため、ビタミンAの必要量が大幅に増加
→通常量を給与していても、血中のビタミンA濃度が低下する

ビタミンAの給与量を増やしたほうがいいケース

飼料側の要因

- ・コーンサイレージ主体の飼料設計
- ・低品質・硝酸態窒素の高い粗飼料を給与
- ・粗飼料の給与量が少ない

家畜側の要因

- ・病原菌感染・乳房炎リスクが高い場合
- ・免疫機能が低下する分娩前後

ビタミンD3

ビタミンD3の働き=カルシウム調整ホルモンの前駆物質

・腸管からのカルシウム吸収と、血中カルシウム濃度の調整機能

給与が必要なタイミング=分娩前後

・分娩後は初乳中に多量のカルシウムが分泌される

→欠乏により血中カルシウム濃度が維持できなくなると、乳熱や起立不能に

→どんなに多くのカルシウムを摂取しても、ビタミンD3が不足すれば濃度が調整できない

ビタミンD3は日光浴によって動物の皮膚でつくられるが、十分な日光浴ができる環境でない限り
給与することが必要

→多くの舎飼いの飼養環境では、給与は必須となる

ビタミンE

ビタミンEの働き=生物学的抗酸化剤

・細胞膜の維持、免疫、生殖などの機能に寄与

ビタミンEによる繁殖性向上効果

・卵胞発育促進、正常な発情、卵巢機能の正常化（卵巢囊腫予防）、受胎率の向上、胎盤停滞の予防、子宮機能の正常化、子宮疾患の予防（内膜炎、筋層炎）

ビタミンを気軽に摂取させたいときには、、、

すこやかカプセル



カプセルタイプで
給与しやすいこの
製品！！

搾乳牛から子牛まで
幅広く給与可！！

ビタミン給与は
暑熱対策として
もおすすりめです



給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.236

牛舎で発生する
イエバエ成虫対策について

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今年も毎日暑い日が続いています。そろそろ秋口も見える季節になりますが、この時期のハエは牛舎の中に入り込んでうるさい時期です。

これまで、数回ハエの成虫対策をご紹介してきましたが、今回は、発生したハエの対処法を具体的に示します。これからのイエバエ対策の参考にさせていただければ幸いです。

復習：ハエの生態

過去に何度かお話ししておりますが、改めてハエの生態に簡単に触れておきます。

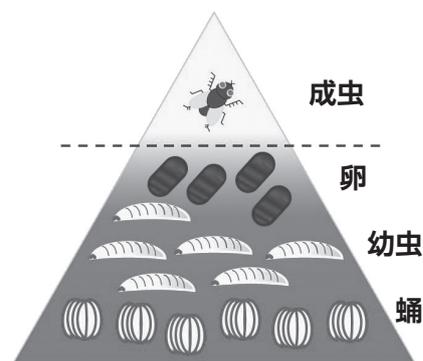
まずハエの密度について、私達が普段目にしてハエの成虫は「氷山の一角」でしかありません。

発育ステージ別に見てみると卵、幼虫、蛹が多いため、発生源対策が基本になってきます。

ハエのステージ別の密度は右図のようになっていますが、発生源対策を実施することによってピラミッドが小さくなり、最終的には発生するハエの成虫が減少することに繋がります。



イエバエ写真



秋口のイエバエ対策

ハエの成虫対策＝殺虫剤を噴霧することですが、ハエが数匹いる状態では噴霧されない方がほとんどだと思います。

そこで実施していただきたいのが、ハエが任意に摂食することで駆除が可能なベイト剤での成虫対策です。

ベイト剤は牛舎内の牛の触れない場所に設置するだけでどなたでも簡単にハエ対策ができる利点があります。

また、ハエの密度に関係なく使用できるので、増える前からのハエ対策に適した殺虫剤になります。併せて幼虫対策もしっかり実施することで発生ピークの時期になってもイエバエの密度を低く維持することができます。

- ・ベイト剤（エコスピードパック）：イエバエ成虫を駆除することで成虫の産卵を阻止するイメージ
- ・幼虫対策剤（サイクラーテSG）：幼虫が少ない時期（春先）から散布して羽化する成虫を減らすイメージ

イエバエ成虫対策

先程ご説明しましたベイト剤の使用方法についてお話しさせていただきます。 エコスPEEDパック

製品名：エコスピードパック

規格：10g×10袋、25g×10袋

効能・効果：畜・鶏舎内及びその周辺のハエの成虫の駆除

用法・用量：畜・鶏舎内外の床面積100m²に対し10gの割合で、
本品を水溶性フィルム包装のまま100～400mLの水に溶かし、
その溶液を壁、柱等に噴霧塗布する。（一部抜粋）



ベイト剤は「イエバエ成虫が自ら任意に摂取して駆除する薬剤」になります。 10g×10 25g×10
この言葉だけではイメージが付かないと思いますが、
殺虫剤を噴霧するための動力噴霧機などを必要とせず、
手軽に成虫駆除ができる薬剤を想像していただければと思います。

弊社製品「エコスピードパック」は、
粉状の薬剤があらかじめ水溶性フィルムに包装されており、
スプレーボトルに水溶性フィルムごと入れて水を入れるだけで
使える殺虫剤になります。

どなたでも簡単に薬剤の濃度調整ができるため、
殺虫剤の希釈噴霧に比べて作業の慣れなどは必要ありません。
薬剤調整後はハエの多い（牛が舐めない）ポイントや
温かい機械、日の当たる窓などツルツルした面に対して
噴霧塗布して薬剤処理完了となります。

イエバエは普段「グルーミング」と言われる自らの足を舐める行為をしますので、
薬剤の塗布面に留まった際に足に付着した薬剤をこのグルーミングにより
ハエ自身が致死量を摂取してくれる仕組みになっております。



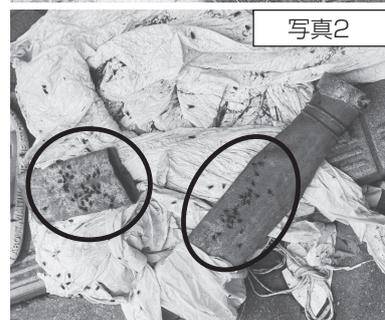
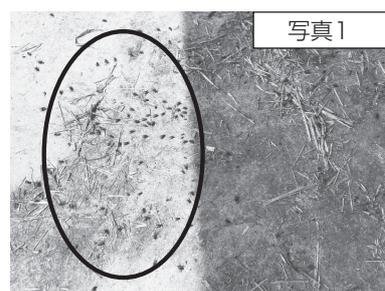
エコスピードパックを塗布するポイントは、以下が適しています。

- ・温かい機械、
- ・牛舎内の飼槽付近（牛が舐めない場所）
- ・日のよく当たる場所（写真1）

基本的にはハエがよく留まるポイントへ塗布すると、
効果的にイエバエを駆除できます。
また、サイレージのラップや廃材のシートなどを活用すると
簡単に駆除したイエバエを捨てることができます。

最後に

今回はイエバエ成虫対策としてベイト剤の「エコスピードパック」
をご紹介しました。今年も全国的にハエが多かったシーズンなので、
増えたハエ対策にぜひベイト剤、エコスピードパックを実施してみ
てください。



大相撲荒汐部屋の福島合宿を訪問してきました!! 酪王カフェオレと酪王ももオレを差し入れしてきました〜♪

大相撲荒汐部屋の福島合宿が福島市相撲場で6月5日から16日まで開催されました。

荒汐部屋所属で福島市出身の大波三兄弟（若元春、若隆景、若隆元）のうち、長男の若隆元さんは以前から酪王カフェオレの大ファンだそうで、三兄弟を特集したドキュメンタリー番組内でも若隆元さんの手元には酪王カフェオレが放映されていました。

そんな折、今年の3月に開催された大阪場所に酪王カフェオレを差し入れたところ、ご本人よりお礼のお電話があり「ぜひ、福島合宿に来てください!」とお誘いを受けましたのでお言葉に甘えてお邪魔してきました。

当日は迫力ある朝稽古を間近で見ることができたうえに、稽古後には若隆景関と若隆元さんに写真撮影にも応じていただき、若元春関と若隆景関、荒汐親方にはサインまでいただくことができました。

8月22日からの福島場所も社員一同応援していますので、精一杯頑張ってくださいね。



若隆元さん（長男）



若元春関（次男）



若隆景関（三男）



厳しい稽古にもかかわらず笑顔の力士たち



令和6年度6月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、132円31銭9厘で前年より9円67銭6厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg(税抜)の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg(税抜)の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg(税抜)の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分(バター向け及び生クリーム向け)の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

- 東北全体プール乳代金 4,590,448千円 単価130.072円
- 内 福島県分プール乳代金① 528,837千円 単価130.072円
- プール対象外乳代金② 90,167千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 619,003千円 単価134.180円

項目	令和6年6月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	131円349	121円504	9円845	111円203
補給金単価	0円746	0円873	-0円127	0円927
集送乳調整金単価	0円224	0円266	-0円042	0円290
合計	132円319	122円643	9円676	112円420

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体6月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	26,145	871.0	100.7	69.3	65.5
加工向け	2,553	85.0	76.2	6.8	8.5
学校給食向け	2,418	81.0	90.7	6.4	6.7
発酵乳向け	6,010	200.0	85.5	15.9	17.7
生クリーム向け	451	15.0	88.1	1.2	1.3
チーズ向け	133	4.0	95.8	0.4	0.3
合計	37,710	1,256.0	95.1	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

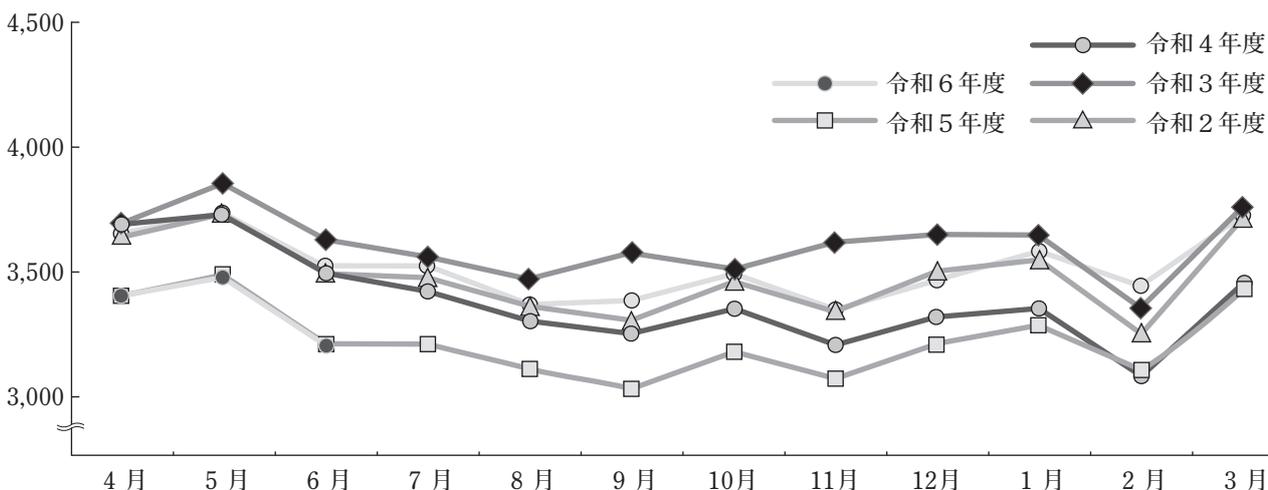
北海道：98.1%、都府県：99.9%

団体名	6月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	3,206	106.9	99.7
全農福島県本部	1,409	47.0	102.7
合計	4,615	153.9	100.6
東北生乳販連	37,710	1,216.5	95.1
全国	572,857	18,479.3	98.9

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206										
前年比%	99.9	99.6	99.7										

単位・トン



令和6年度受託乳量の状況

令和6年6月の受託乳量は、県全体で前年比100.6%の実績でありました。団体別の受託乳量は、本組合が3,206ト、前年比99.7% (対前年同11ト減)、全農県本部は1,409トの対前年比102.7% (対前年同月37ト増) の実績でありま

した。東北生乳販連の受託販売実績については、前年比95.1%となりました。なお、全国の実績は対前年比98.9%となりました。

令和6年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で飲用向けが100.7%と上回り、加工向けが76.2%、学校給食向けが90.7%、醗酵乳向けが85.5%、生クリーム向けが88.1%、チーズ向けが95.8%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和6年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比23銭引き上げの「8円92銭」、集送乳調整金を同3銭引き上げの「2円68銭」、総交付対象数量については、前年度比5万トン減の「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比26銭上げの「11円60銭」

となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費と副産物価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均46.7トﾝ（前年比97.4%）で、本組合生産量の43.7%、県全体生産量の30.4%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	128.759	130.057	132.319										
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年6月30日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 23	戸 27	% 85.2%	頭 386	頭 197	頭 192	頭 516	頭 519	頭 1,227	頭 1,810	頭 1,889	% 95.8%	頭 78.7
県中	44	51	86.3%	217	127	162	422	593	1,177	1,521	1,626	93.5%	34.6
浜	6	7	85.7%	82	50	42	46	94	182	314	326	96.3%	52.3
県南	31	33	93.9%	446	276	242	702	778	1,722	2,444	2,615	93.5%	78.8
合計	104	118	88.1%	1,131	650	638	1,686	1,984	4,308	6,089	6,456	94.3%	58.5

地区	月別分娩予定頭数							生乳出荷戸数	販売乳量			
	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月		地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛								
県北	頭 102	頭 164	頭 147	頭 126	頭 128	頭 113	頭 125	戸 19	kg 32,346	kg 1,702	kg 31.3	kg 26.4
県中	89	79	118	94	90	108	133	44	27,110	616	26.7	23.0
浜	33	21	14	18	17	20	15	6	4,077	680	29.1	22.4
県南	156	162	183	192	158	182	187	30	43,359	1,445	29.3	25.2
合計	380	426	462	430	393	423	460	99	106,892	1,080	29.1	24.8

組 合 の 動 き 7 月

7月1日	辞令交付式	7月17日	生乳の安心安全のための
7月2日	経営検討会		福島県協議会
7月4日	県酪女性部やまびこ会役員会	7月19日	県南地区運営委員会
7月4日	東北生乳販連事業推進委員会 (WEB)	7月19日	JAグループ原発事故損害 賠償対策協議会総会
7月5日	第4回理事会	7月19日	東北地区ホルスタイン改良 協議会役員会
7月5日	三役委員長会議		
7月5日	福島県乳牛改良推進協議会理事会	7月22日	県中地区運営委員会
7月5日	(株)らくのう乳販取締役会	7月23日	東北生乳販連理事会通常総会
7月9日	酪青連後継者支援研修会	7月24日	福島県農業会議常設審議委員会
7月10日	福島県獣医畜産発表大会	7月25日	全酪連監事会・理事会・総会
7月10日	FD24会県南支部総会・懇親会	7月29日	JA福島中央会新任役員研修
7月11日	乳牛せり市場	7月30日	福島県酪農青年研究連盟役員 ・事務局会議
7月11日	東北生乳販連理事会		
7月16日	県北地区運営委員会及び牛魂祭	7月30日	経営検討会
7月16日	FD24会通常総会		

理 事 会

第4回 令和6年7月5日

議 案

- 第1号議案 夏季手当の支給について
- 第2号議案 福島県酪農業協同組合家畜市場業務
規程の一部変更について

報告事項

- (1) 令和6年度生乳の安全・安心の確保のための取組について
- (2) 今後の日程について

全酪連 飼料添加物 特価キャンペーン'24

キャンペーン期間
令和6年8月1日～9月30日



マッシュ/ペレットタイプがあります。
珪藻土、酵母由来酵素、酵母細胞壁を使用し、給与量が少量でもトリプル吸着効果が期待できます。
1日給与量 20～50g/頭



すこやかカプセル

150粒/300粒の2種類です。
嗜好性の良いカプセルタイプのビタミン混合飼料で、繁殖対象牛や乾乳牛へのスポット的なビタミンADEの補給におすすめです。
3日間隔で1粒または1週間で2粒の給与量になります。

価格、その他お問い合わせは、酪農協 購買畜産課または全酪連担当者までご相談ください。



福島県牛乳普及協会
令和5年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
福島県大会入賞レシピ



蘇（古代の乳製品）生ハム巻き

国際ビューティー&フード大学校
岡田 悠花さん



●●● **材 料** ●●●

(材料:4人分)

- ・生ハム …………… 4枚
- ・人参 …………… 1/2本
- ・きゅうり …………… 1/2本
- ・牛乳（よつ葉） …… 600ml
- ・食用菊（飾り用） …… 1つ
- ・ささの葉（飾り用）… 1枚
- ・氷（冷やす用） …… 適量
- ・塩 …………… 適量
- ・スプラウト …………… 1本
- ・マイクロハーブ …… 1本

●作り方

- ① 牛乳 600ml を 300ml ずつ分けて、平大皿に入れ 600w で 10 分加熱する。
これを 2 回。その間に、人参、きゅうりをスライスし、塩をふっておく。
- ② フライパンに入れて練るように水分をとばし、固まったらアルミホイルに移して成形する。氷で冷やす。

- ③ 蘇が冷えたら、生ハム→人参→きゅうり→蘇→スプラウト・マイクロハーブの順に乗せて巻き、一口大に切って出来上がり。



蘇をよく練ることで甘みが増し、臭さが消えて美味しく食べられます。

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^）する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>